

“がんば”が

誕生するまで

皆さんから寄せられた会報名は、なんと二四八通に達しました。審査にあたった十二名の会報係は、フーツとため息をもらしながらそれでも慎重に、それでも楽しく審査に当たっています。一番多く寄せられた名称は①「白山」②「しらめひ」、③「まゆやまの順」でした。すでに他の会報等に使われている名称は、とり除いて、両三度の無記名投票によって選ばれたのが次の二つ、息づまるふんい気のうちに、最後の投票が行なわれ、その結果

「がんば」

五票

「はまゆう」

四票

「あけぼの」

三票

と二票の差で「がんば」が決定したのです。「がんば」の名付親は、田口勝さん。二四八通のうち、ただの一通よせられたものでした。ここに、会報名決定までの経過を簡単に御報告し、応募して下さい。大皆様に心からお礼を申し上げます。

「がんば」

三月に入って、有明海に産卵にくるふぐの島原における通称。その味はすばらしく、島原名物料理の代表とされる。(がん)は棺かぶつ桶、(は)は(……を)と同じ意味の助詞で、産卵期のふぐの毒素の激しいことから(棺桶)を用意しても喰わずにはおれない)というあたりが語源だとされている。(T・Y)